生徒たちと将来の交通、地域、暮らしのこと、考えてみませんか？

中学生向け「交通環境学習」
～未来のまちづくり交通教室～
実施校を募集します！

滋賀県では、コミュニティバスや地域鉄道への支援など、日常生活や経済活動を支える**公共交通の維持・活性化**に取り組んでいます。

平成28年度から、県内の小学生向けにバスや電車の乗り方などを学ぶ出前授業を実施し、令和7年度には**県内17市町69校で実施**しました。

令和8年度において、**中学生を対象に、より主体的で深い学び**の機会となる「交通環境学習」を試行します。「総合的な学習の時間」等でぜひ御活用ください。



活用イメージ



＜導入＞座学（授業「地域の活性化につながる公共交通」）
Point☑ 地域の公共交通の現状を学ぶことで、自らの住む地域の将来の在り方を自主的に考える機会とする

＜展開＞グループワーク（議題に沿って各グループで議論）
Point☑ 地域が抱える公共交通の課題について、問題解決のために議論を行い、より主体的に考える機会とする

＜まとめ＞発表・提案（自治体職員等からコメント・講評）
Point☑ 自治体職員等から話を聞くことで地域で働く人の想い・考えを学ぶキャリア学習という側面でも効果
※2コマ（50分×2）を想定

申込締切

申込み期間：令和8年4月～12月

実施時期　：令和8年7月～令和9年2月（要調整）

※費用負担はございません。

※実施可能校数には限りがあります。

まずはお気軽に
お問い合わせください！

◆実施目的（永源寺中学校の例）

「永源寺の今と未来～公共交通の観点から～」
生徒たちが住む永源寺地域の特徴や公共交通の現状について知り、地域の良さや課題、自分たちとの関わりについて考え、「永源寺の今と未来」について考える。

◆実施内容（永源寺中学校の例）

◊3時間目：県・市職員による公共交通の現状や取組についての講義
◊4時間目：グループワーク
【テーマ】「永源寺を住みやすく・来てもらいやすいまちにするために、どのように交通を改善すると良いだろうか」

◆実施後の教員アンケートの回答



公共交通機関について、馴染みの薄い地域でしたが、滋賀県や東近江市の交通機関の現状にも目を向けることができました。

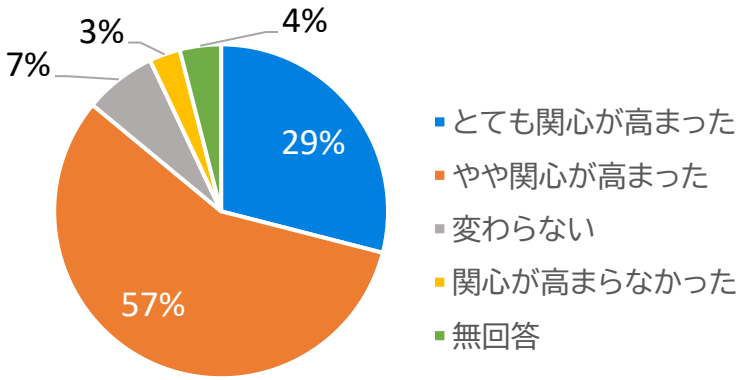
◆実施後の生徒の反応

公共交通の問題は自分にとっても身近なものが多く、家族や友達と一緒にもっと公共交通を使っていきたいと思いました。



事後アンケートを実施し、授業を受けた生徒の86%が公共交通や地域についての関心が高まったと回答しました。

学習後の公共交通・地域への関心度



すまいる・あくしょん公式キャラクター「にじはび」

体験活動や学びの機会を増やす

＜問合せ先＞
滋賀県交通まちづくり政策課　事業推進室地域交通係
TEL：077-528-3680　MAIL：ra0005@pref.shiga.lg.jp